

科目	歴史 (History)		
担当教員	町田 吉隆 准教授		
対象学年等	電気工学科・1年・通年・必修・2単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	C3(100%)		
授業の概要と方針	日本の外交史を学ぶ。日本列島の歴史を他地域との関係から眺めることによって、その社会の特色を探ることを目標とする。「国際化」「グローバリズム」が注目される現在、「国民国家」成立以前の「日本」とは何だったのかを考えてみる必要がある。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【C3】前近代の外交史について、世界情勢と日本社会の変容を関連させながら理解することができる。		前近代の日本をめぐる世界情勢と日本社会の変容に関する理解を中間試験および定期試験で評価する。
2	【C3】具体的な史料に基づいて、歴史的イベントや事象の内容と因果関係を説明することができる。		授業で扱った歴史的イベントや事象の内容と因果関係についての理解を、中間試験および定期試験で評価する。
3	【C3】歴史的イベントや事象の内容と因果関係を、正確かつ丁寧に解説、表現することができる。		授業で扱った歴史的イベントや事象の内容と因果関係についての理解を、歴史プリントおよびノート検査で評価する。
4	【C3】史跡や文化財および近代化遺産について、実地に調査して、その作成過程を説明することができる。		各自が興味を持つテーマを設定して、作成するレポートの内容で評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70%、レポート20%、歴史プリント、ノート10%として評価する。到達目標1, 2, 3については中間および定期試験4回の平均点で評価する。また到達目標3については歴史プリント作成およびノート検査で評価する。到達目標4についてはレポートで評価する。これらを総合して100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	『詳説日本史』石井進・五味文彦・笹山晴生・高埜利彦ほか著 (山川出版社) 『最新日本史図表』外園豊基編集代表 (第一学習社)		
参考書	『日本史B用語集』 (山川出版社) 『角川日本史辞典』 (角川書店)		
関連科目	歴史 (2年) ・日本史 (5年) ・世界史 (5年)		
履修上の注意事項	中学校までで学んだ知識に基づく内容だが、教科書を授業前に読んでおくことを期待する。授業に参加する姿勢の乏しい者については個別に注意する。		

授業計画 1 (歴史)

週	テーマ	内容(目標, 準備など)
1	導入	日本列島の歴史的環境を「東日本」と「西日本」の違いから考える。
2	蒙古襲来(1)	モンゴル帝国の成立がユーラシア世界に与えた影響について理解する。
3	蒙古襲来(2)	鎌倉幕府と朝廷の動き, 僧侶や武士の考え方について, 史料に基づいて理解する。
4	蒙古襲来(3)	元寇が日本に与えた影響と13世紀の日本の社会に生じた新しい経済的, 社会的, 文化的な動きを相互に関連させて理解する。
5	南北朝の争いと前期倭寇(1)	14世紀の日本列島の政治状況と, 中国大陸, 朝鮮半島の情勢を理解する。
6	南北朝の争いと前期倭寇(2)	寺社造営のための貿易船の派遣と倭寇の実態とを理解し, 中世日本社会の特質について考える。
7	南北朝の争いと前期倭寇(3)	明朝による国際関係の再編とのつながりから, 足利義満の内政・外交政策の意味を理解する。
8	中間試験	第1週から第7週までの内容について試験を行う。
9	中間試験の解答	中間試験の内容について解説する。これまでに得られた日本列島と周辺地域の関係に関する知見を確認する。
10	日本の中世とアジア(2)	李氏朝鮮の対日本外交から, 14-15世紀の日本社会の動きを理解する。
11	日本の中世とアジア(2)	琉球王国の成立と東南アジア, 中国, 朝鮮半島とのつながりから, 「アジアの地中海」としての東シナ海の特質を理解する。
12	日本の中世とアジア(3)	蝦夷の社会の動きを学習し, 日本列島全体との関係から中世日本の特質を理解する。
13	日本の大航海時代(1)	大航海時代の到来を「世界システム」形成との関係から理解する。
14	日本の大航海時代(2)	宗教改革と反宗教改革の動きから日本へのキリスト教の伝来を理解する。
15	日本の大航海時代(3)	豊臣秀吉による朝鮮侵略を16世紀の世界情勢と日本社会の動揺の観点から理解する。
16	定期試験の解答	定期試験の内容について解説する。これまでに得られた日本列島における中世と近世の転換に関する知見を確認する。
17	鎖国とは何か(1)	織豊政権の貿易政策と対キリスト教会政策の変容について理解する。
18	鎖国とは何か(2)	徳川幕府の対外政策の転換の流れを理解する。
19	鎖国とは何か(3)	徳川幕府の禁教政策を国内統治との関連から理解し, 17世紀の日本の思想状況を学習する。
20	日本の近世と世界(1)	徳川幕府の外交政策を東アジアにおける管理貿易体制の成立との関連から理解する。
21	日本の近世と世界(2)	徳川幕府と李氏朝鮮の動きを学び, 近世日本社会の特質について考える。
22	日本の近世と世界(3)	鎖国体制下の対外窓口となった長崎の社会的, 文化的な位置づけを理解する。
23	中間試験	第16週から第22週までの内容について試験を行う。
24	中間試験の解答	中間試験の内容について解説する。これまでに得られた16-17世紀の世界と東アジアの国際情勢を理解する。
25	近世日本の文化と対外関係(1)	朱子学と蘭学の受容過程を理解し, 近世日本社会の特質について考える。
26	近世日本の文化と対外関係(2)	琉球と蝦夷, 清, オランダ, 朝鮮を近世日本人々がどのように理解していたかを, 商品経済と芸術文化から理解する。
27	近世日本の文化と対外関係(3)	鎖国体制下における対外関係の変容について, 新井白石, 徳川吉宗, 田沼意次, 松平定信の政策から考える。
28	西洋の衝撃(1)	18-19世紀の世界情勢を理解し, 日本の対外認識の変化の過程について学習する。
29	西洋の衝撃(2)	イギリスとロシアの動きによって日本の国内に生じた社会的動揺が, 幕藩体制に与えた衝撃を理解する。
30	西洋の衝撃(3)	アメリカ合衆国の国際戦略と幕府が「開国」へと転換する過程を理解する。
備考	前期, 後期ともに中間試験および定期試験を実施する。	